

大分市歴史資料館

OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

ニュース

vol.

114

2017.1.28

平成28年度 テーマ展示Ⅲ

THE 府内古図

中世豊後府内のまち

現在確認されている
「府内古図」を一堂に展示!

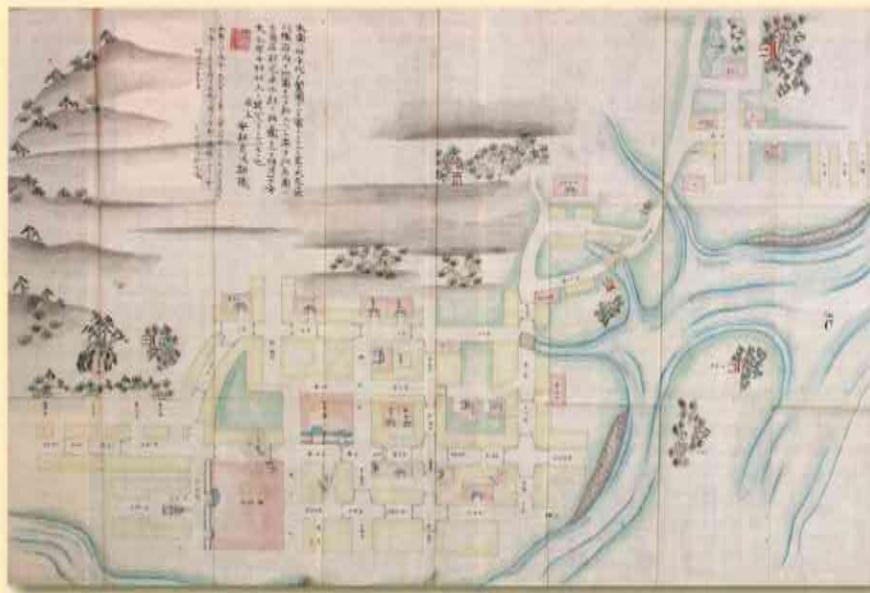
府内古図 C1類1(立川乙本)

文政十二年
冬月吉辰
牧在氏寫焉

元府内之圖
當御子九百之

会期 平成29年
1月28日(土)~4月3日(月)

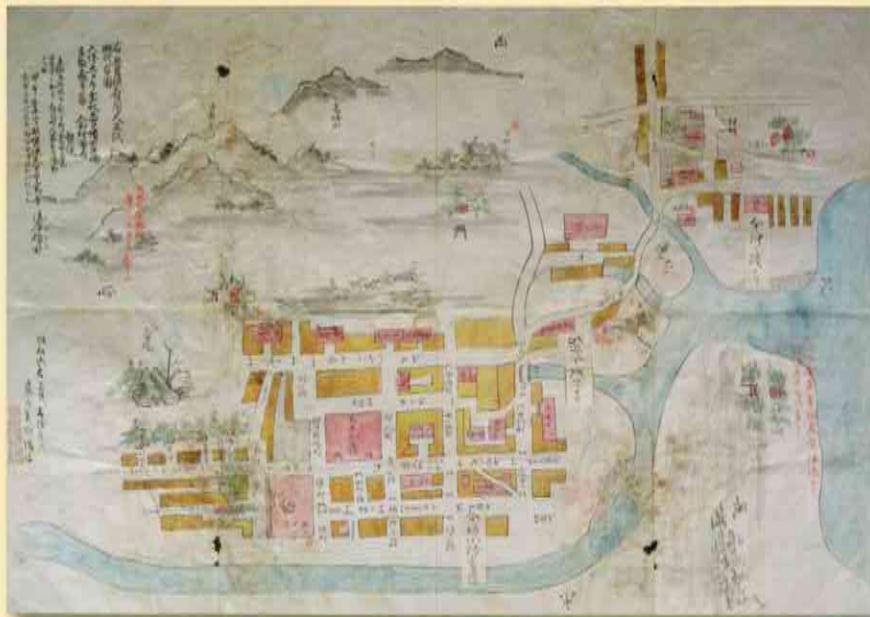
大分市歴史資料館



②府内古図 A1類2 (中村本) 個人蔵



⑥府内古図 B1類 (立川甲本) 当館蔵



⑨府内古図 B2類2 (高山甲本) 当館蔵



府内古図とは

現在の大分市元町から長浜町、春日神社周辺に広がる豊後府内のまちを描いた絵図。この種の絵図で所在が確認できるものは、近代の写図を含めて8点あり、この内3点は江戸時代のものである。また印刷図や写真図版を含めると14点の府内古図が確認できる。いずれも大分川左岸の「大友館」を中心に広がるまちから、その外港としてあった「沖の浜」辺りまでを描き、まちの中を南北4本、東西5本の道路が通り、それに沿って40余りの「町」や寺社が記載されるなど、主要な部分は共通している。この絵図の原図の成立は、江戸時代の初期と考えられている。しかしながら絵図の内容は、天正9年(1581)創建とされる善巧寺が描かれている点、天正14年(1586)の島津氏侵攻でまちと共に焼失し、その後に再建されることはなかった大友館が描かれている点などから、天正9年頃から天正14年までの府内のまちの姿を描いたものとされている。これら府内古図は、記載内容の違いなどから、大きくA・B・C類の3つに分類されている。

A類

描写的丁寧さなどから最古と推定される古国府本およびこれに類似するもの。寺院は境内を囲み、門のみを描く。神社は本殿・鳥居を描く。町屋は黄色でベタに塗っているが、郊外の家屋は家の形を描き込んでいる。

このA類の特徴の1つとして、「大友館」の外門は東に面し、瓦葺の堀に大門と小門が並列していることがあげられる。

B類

文字情報などはA類に類似するが、漢字をひらがなやカタカナで表記するもの、別の漢字が用いられるものがある。またA類では名称が記載されていない寺に記載のある例(称名寺・光西寺)があり、A類と比較してやや文字の情報量が多い。

このB類の特徴の1つとして、大友館は「大友御屋敷」と表記され、瓦葺の堀がなく、東に大門と小門のみが描かれていることがあげられる。

C類

絵・文字ともに情報量が多く、特に春日神社周辺では、後世の注釈的記述が多い。また、A・B類では山が描かれていた南西部分に、志手の毘沙門宮への道や、若宮八幡宮からの本城道が描かれる。

このC類の特徴の1つとして、大友館は「大友御屋敷」または「大友役所」と表記され、瓦葺白壁の堀が四方を開み、それぞれに門が描かれることがあげられる。また大友館の南側には、瓦葺白壁上蔵で囲まれた「御藏場(蔵場)」が表記されているのも特徴の1つである。

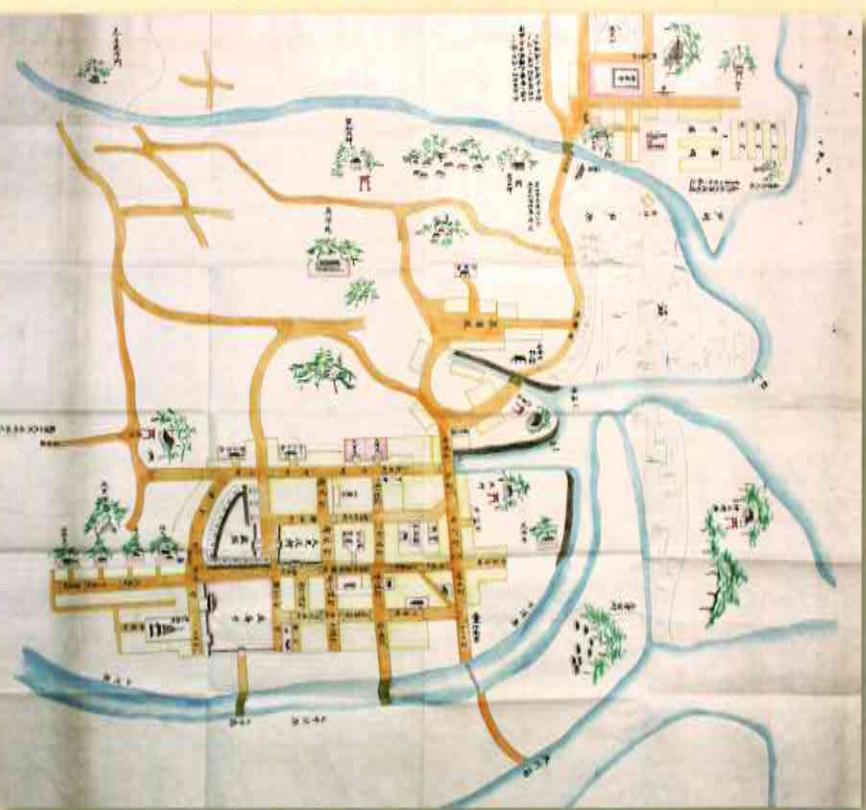
①府内古図 A1類 (古国府本) 個人蔵

戦国時代の豊後府内のまちの様子を現在に伝えたものに「府内古図」と呼ばれる絵図があります。府内古図は現在、発掘調査が行われている国指定史跡大友氏遺跡や中世大友府内町跡の調査において、絵図にみえる道路や木戸跡が確認されるなど、その正確さや意義が注目され、1つの大きな指針ともなっている資料です。

本展示では、印刷図や写真図版なども含め現在所在が確認できる府内古図を一堂に展示し、各絵図に描かれている内容から豊後府内のまちの姿を紹介します。



⑩府内古図 C1類1 (立川乙本)



⑪府内古図 C2類3 (資料館本)

【府内古図リスト】

- | | |
|--------------|--------------------------------------|
| ① A1類 古国府本 | 江戸時代初期
個人蔵
古国府旧家伝来品 |
| ② A1類2 中村本 | 明治40年
個人蔵
大分町中村竹三「古国府本」写し |
| ③ A2類1 玉杵本 | 昭和期
玉杵市教育委員会蔵
おそらく古国府本の写し |
| ④ A2類2 垣本作図本 | 昭和15年『大分県郷土史料集成』
垣本言雄蔵品をもとに作図 |
| ⑤ A2類3 伊藤作図本 | 昭和12年『大分市誌』
伊藤正男蔵品をもとに作図 |
| ⑥ B1類 立川甲本 | 江戸時代
当館蔵
上野松坂蔵品(亡失)の写し 立川輝信旧蔵 |
| ⑦ B2類1 日名子本a | 昭和5年『切支丹伝道の荒廃』
掲載写真 日名子太郎蔵(不明) |
| ⑧ B2類1 日名子本b | 昭和11年『イエズス会士日本通信』
掲載写真 日名子太郎蔵(不明) |
| ⑨ B2類2 高山甲本 | 昭和6年
当館蔵
高山英明写し 日名子本(後藤碩田写図) |
| ⑩ C1類1 立川乙本 | 文政12年
当館蔵
牧在氏写し 府内城本丸蔵品 立川輝信旧蔵 |
| ⑪ C1類2 高山乙本 | 昭和15年
当館蔵
高山英明写し 府内藩士渡邊龍右衛門蔵 |
| ⑫ C2類1 那賀写真本 | 昭和9年『史蹟名勝天然記念物調査報告書』12掲載写真(部分のみ) |
| ⑬ C2類2 那賀作図本 | 大正4年『大分市史』
那賀進治蔵品(焼失)をもとに作図 |
| ⑭ C2類3 資料館本 | 幕末～明治期
当館蔵
平成26年度収集資料 |

※各分類は、木村幾多郎 2001「府内古図再考」Fumai「府内及び大友氏関連遺跡総合調査研究年報IX」により、その後確認されたものには、今回新しく分類を追加した(下線字)。さらに所在地や旧所蔵者などから「○○本」との名称をつけた。赤字は江戸時代。青字は近代の写図。

当館蔵



特別展記念解説講座

特別展会期中の11月6日(日)、ホルトホール大分3階大会議室にて東京藝術大学大学院教授の籾内佐斗司氏、大分大学教育学部教授の田中修二氏をお招きし、特別展記念講演会を開催しました。はじめに籾内氏より「仏教紙芝居-ほとけの世界とその意味」の演題で基調講演をしていただきました。籾内氏は、東京藝術大学保存修復彫刻研究室において長年にわたり全国各地の仏像修復に携わられ、また彫刻家としても奈良県の公式マスコットキャラクター「せんとくん」のデザインを手がけられたことでも有名です。さらに、JR大分駅やJRシティ・屋上ひろばには、「ぶんぶん童子」をはじめとしたかわいらしい作品の数々が飾られており、大分と縁の深い方でもあります。テレビ番組でも2012年より3年連続仏像拝観をテーマに講師を務められ、日本一わかりやすい仏像解説者とも言われています。基調講演では、籾内氏がデザインしたかわいい仏像のイラストをもとに、仏像や仏教の世界観をわかりやすく解説していただきました。

その後、「ほとけさまに出会う旅に出かけよう!」という演題で田中氏と対談していただきました。対談では大分に残る仏像や仏教文化のすばらしさを紹介されるとともに、博物館や美術館の展覧会では得ることのできない、お寺や神社など本来仏像が祀られている場所で拝観することの意義や魅力についてお話をいただきました。



記念講演会の参加者は246名を数え、活発な質疑応答も行われるなど大盛況のうちに幕を閉じました。

基調講演のようす



再会を喜ぶ籾内氏とせんとくん



対談のようす

利用案内

■開館時間 9時から17時 (入館は16時30分まで)
■休館日 月曜日 但し祝日の場合は開館

但し第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館日
祝日の翌日 但し土・日曜の場合は開館
年末年始 12月28日～1月4日



ななちゃん

■観覧料 大人200円(团体150円) 高校生100円(团体50円)

中学生以下 無料 ※団体は20名以上

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳

の交付を受けている方とその介護者は無料。

⑤入館時に受付で手帳を提示してください。



かごねちゃん

■交通機関

JR久大本線 豊後国分駅下車 徒歩2分

・大分自動車道 大分I.C・光吉I.Cよりも約15分



とうちゃん

発行日：平成29年1月28日

発行：大分市歴史資料館 〒870-0864 大分市大字国分960-1 Tel 097-549-0880 Fax 097-549-5766
※大分市ホームページの「観光・魅力>歴史・文化財>歴史・文化を学ぶ>大分市歴史資料館」も併せてご覧ください。
(http://www.city.oita.oita.jp/)

ふれあい歴史体験講座

■定員 各回70名程度(先着順)

■時間 午前の部 9時30分～(約2時間)
午後の部 14時00分～(約2時間)



	実施日	内容	材料費	受付開始日
第15回	2月4日(土)	折り紙雛作り	300円	1月17日(火)
第16回	2月18日(土)	火起こし	無料	2月3日(金)
第17回	3月4日(土)	勾玉作り	250円	2月17日(金)

■応募 上記の受付開始日より、電話にて応募ください。
(大分市歴史資料館:097-549-0880)

テーマ展示解説講座

■内容 講座室でテーマ展示Ⅲ「THE 府内古図－中世豊後府内のまちー」について、スライドなどで解説した後、展示会場を案内します。

■日時 2月12日(日) 14時～15時30分

■参加費 無料 ※事前の申し込みは必要ありません。

★上記の各講座等の参加者は観覧料が無料になります。

せんとくんが大分市初訪問！

11月2日(水)から8日(火)の間、奈良県公式マスコットキャラクターのせんとくんが大分市を初訪問し、特別展と記念講演会をPRしてくれました。大分市役所やJR大分駅を表敬訪問したほか、JRおおいたシティ・屋上ひろばでの記念撮影会、歴史資料館で市内の子どもたちとの交流など大活躍でした。



JRおおいたシティ・屋上ひろばで記念撮影



資料館での交流風景



ぶんぶん号に初乗車



大分市教育委員会教育長を表敬訪問